



大切な一票を正確に集計しています

皆さんが投票された後ってどうなっているかご存じですか？

7月10日(日)に執行された参議院議員通常選挙の開票の様子を紹介します。

投票後から深夜にかけて、ミスの無いように

細心の注意を払いながら正確な集計作業を行っています。



2

一斉に投票箱の鍵を開け、投票用紙を取り出します

1

投票が終わり投票箱が開票所に到着します

3

投票用紙の向きを揃えます

4

機械で投票内容ごとに振り分けます

5

機械では判定不能な投票用紙を資料を見ながら振り分けます

8

投票数を入力し結果を公表します

7

開票立会人と開票管理者が投票用紙を確認します

6

投票用紙を内容ごとに数えます

選挙を通じて高山市の
今と未来を考えてほしい
高山市選挙管理委員会
委員長 川上実さん

私たちは、法令に基づき公正・公平な選挙となるように、投票の準備から開票日も深夜遅くまで関係機関と連携しながら着実な事務を行っています。

昔、選挙権は、一定の税金を納めた者や男性のみの権利で、今のように誰もが投票できる権利ではありませんでした。今や選挙は、民主主義の根幹となる大切なものです。「自分一人が投票しなくても何も変わらない」などを理由に選挙権を行使しないと、一部の人の意見だけで社会が動くことになり、民主主義が崩れかねません。市長・市議会議員補欠選挙は、選挙の中でも特に身近な選挙です。この選挙を通じて、高山市の今と未来を考えるきっかけになると良いと思います。大切な権利を無駄にしないように、ぜひ投票にお越しください。

大人の皆さんにお願いです。未来を担う子どもたちに選挙の意味や大切さを教えてあげてください。そして、子どもが選挙権を得た時には、一緒に投票に行き、社会のことを一緒に考えてもらえるとありがたいです。

